

第2回 電子情報化委員会 議事録（案）

日 時：2002年10月22日（火）17:30～20:30

場 所：JCI 会議室

出席者：丸山委員長，中村幹事，岸本，小山，斎藤，柄，橋本，馬場，日比野，森，山本の
各委員，（事務局）宇野，竹田，戸口，山下，（KCC）窪田，三浦

配布資料：

2-0 議事次第

2-1 第1回電子情報化委員会議事録（案）（中村）

2-2 年次大会スケジュール（案）2003 京都（KCC）

2-3 査読システムデータベース関連の作業状況（森）

2-4-1 課金システムについて（斎藤）

2-4-2 e-チケットシステム画面遷移図（KCC）

議 事：

1. 前回議事録の確認

中村幹事より第1回電子情報化委員会議事録（案）の確認を行った。

- ・「四国支部」を「中国四国支部」に訂正。

2. 新委員の紹介

新委員の小山委員，橋本委員より自己紹介があった。

3. 年次大会作業スケジュールについて

KCCより年次大会スケジュールについて説明があった。

- ・査読システムについては，第1回査読幹事会での修正事項に対応中である。
- ・査読マニュアルは宇治幹事が中心となり査読委員会で作成する。KCCで草稿を作成し，第2回査読幹事会（11/8）に提出の予定。第2回査読幹事会には電子化より中村幹事が出席。
- ・執筆要領は査読委員会で作成。電子化で把握している改善点はKCCを通して伝える。
- ・講演部会との連携もあるため，講演部会の日程をスケジュールに追加する。また，講演部会に渡すデータを再確認する。

4. 査読システムおよび投稿システムの修正について

KCCより各システムの修正点について説明があった。

（1）査読システム

- ・外部査読者の分野種別（土木/建築/その他）は配色で区別し，2名の外部査読者の分野が同一の場合はその旨を表示する。ただし，同一分野2名の選定は可能。
- ・「全体意見」の名称と位置を変更し，記入が任意であることを明確にした。
- ・修正事項および参考意見入力画面で「戻る」ボタンを押すと入力した項目が消える点は，技術的な解決が困難なため，注意書きを強調することで対応した。
- ・年次論文奨励賞の判定は5段階に変更し，詳細は査読幹事会で決定する。

（2）投稿システム

- ・修正原稿提出時に行っていた講演方法（ppt，OHP）に関するアンケートは削除する。
- ・題目および連名者を審査用原稿提出時まで変更可能とする。ただし公表はしない。
- ・ファイルサイズ制限を公示750kBに変更，ただし実質は800kB

（3）電子査読について

- ・次年度大会（高知大会）より外部査読を電子査読に移行する。これに伴って外部査読者の

意見をアンケートで調査する。京都大会の審査用原稿にアンケート用紙を同封する。アンケートの原案は岸本委員が作成し、査読幹事会（11/8）で検討する。

- ・高知大会では、事前に外部査読者に電子査読の承諾を得るために1週間程度の日程が必要と考えられる。これに伴い、各種締切りおよび委員会開催の時期を早める必要が生じる。具体的な日程変更の原案を電子査読WG（新設）で検討する。メンバー：岸本，柄，橋本の各委員

- ・電子査読へ誘導する方策が必要。査読料で差をつける。＜丸山

5. 査読システムデータベースの作業状況

森委員より査読システムデータベースの作業状況が報告された。

- ・アンケートでは「査読分野」を削除し、学歴に関する情報を追加した。
- ・今後は web 上で本人がデータを更新できるシステムを構築する。

6. 課金システムについて

斎藤委員より課金システムの概要について説明があった。

- ・eチケットサービスを用いた論文の販売を先行して検討する。すでに絶版になっているものは需要が高いと考えられる。稼動は2004年度の予定。
- ・畑中先生が行っている年次論文集のデータベースと互換性を考慮し、検索システムのデータベースを構築する。
- ・eチケットサービスで扱うコンテンツとポイントの概算を検討する。

7. その他

- ・ACI ホームページから JCI ホームページへのリンクを ACI に連絡する＞丸山
- ・京都大会実行委員会の会合（部会長会議）に電子情報化委員会より委員を派遣する。事務局経由で実行委員会に依頼する。
- ・次回日程：12月19日（木）15:00～

以上